

CASBEE-広島 (2010年ver.1)
 (仮称)石内商業施設3ホームセンター棟

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版
 ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート	実施設計段階	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
			評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質							2.9
Q1 室内環境				0.40			3.2
1 音環境			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 騒音			3.0	0.70	-	-	
1 暗騒音レベル			3.0	1.00	-	-	
2 設備騒音対策			-	-	-	-	
1.2 遮音			-	-	-	-	
1 開口部遮音性能			-	-	-	-	
2 界壁遮音性能			-	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	-	-	
1.3 吸音			3.0	0.30	-	-	
2 温熱環境			3.3	0.35	-	-	3.3
2.1 室温制御			3.6	0.50	-	-	
1 室温設定			3.0	0.50	-	-	
2 負荷変動・追従制御性			-	-	-	-	
3 外皮性能			3.0	0.17	-	-	
4 ゾーン別制御性		マルチユニット型ヒートポンプ方式を使用	5.0	0.33	-	-	
5 温度・湿度制御			-	-	-	-	
6 個別制御			-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮			-	-	-	-	
8 監視システム			-	-	-	-	
2.2 湿度制御			3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式			3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境			3.0	0.25	-	-	3.0
3.1 昼光利用			3.0	0.50	-	-	
1 昼光率			-	-	-	-	
2 方位別開口			-	-	-	-	
3 昼光利用設備			3.0	1.00	-	-	
3.2 グレア対策			-	-	-	-	
1 照明器具のグレア			-	-	-	-	
2 昼光制御			-	-	-	-	
3.3 照度			-	-	-	-	
1 照度			-	-	-	-	
2 照度均斉度			-	-	-	-	
3.4 照明制御			3.0	0.50	-	-	
4 空気質環境			3.5	0.25	-	-	3.5
4.1 発生源対策			4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		内装仕上げ材でF☆☆☆☆を使用	4.0	1.00	-	-	
2 アスベスト対策			-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等			-	-	-	-	
4 レジオネラ対策			-	-	-	-	
4.2 換気			3.0	0.30	-	-	
1 換気量			3.0	0.50	-	-	
2 自然換気性能			-	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮			3.0	0.50	-	-	
4 給気計画			-	-	-	-	
4.3 運用管理			3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視			3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御			3.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	3.2
1 機能性			3.2	0.40	-	-	3.2
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性			-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応			-	-	-	-	
3 バリアフリー計画			3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性			3.6	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		売場の天井高は、3.98m以上あり	5.0	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース			3.0	0.33	-	-	
3 内装計画			3.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理			3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計			3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保			3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性			3.0	0.31	-	-	3.0
2.1 耐震・免震			3.0	0.48	-	-	
1 耐震性			3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能			3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数			3.3	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			3.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水管・汚水管・排水管で、B使用。E不使用。	5.0	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.23	-	-	

2.3 適切な更新			-	-	-	-
2.4 信頼性			2.6	0.19	-	-
1	空調・換気設備		1.0	0.20	-	-
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-
3 対応性・更新性			3.6	0.29	-	3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31	-	-
1	階高のゆとり	階高:3.9m以上有	5.0	0.60	-	-
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比:0.044	5.0	0.40	-	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	-	-
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	3.3
1 建物の熱負荷抑制			2.0	0.30	-	2.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-
3 設備システムの高効率化		高効率機器を設置 ERR=53.8	5.0	0.30	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	3.1
1 水資源保護			3.0	0.15	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-
2	雑排水再利システム導入の有無		3.0	0.33	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			2.9	0.63	-	2.9
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.07	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.25	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.21	-	-
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		高炉セメント	3.0	0.21	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.25	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68	-	-
1	消火剤		-	-	-	-
2	断熱材	天井:グラスウール使用	5.0	0.50	-	-
3	冷媒		3.0	0.50	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出量:54%	5.0	0.33	-	5.0
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-
1	騒音		3.0	0.33	-	-
2	振動		3.0	0.33	-	-
3	悪臭		3.0	0.33	-	-
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-